

案件名	株式会社シーエーシー本社ビル設備における電力消費(一部)におけるカーボン・オフセット	
申請者	株式会社シーエーシー	
案件の概要	シーエーシーは、情報化戦略の立案、システム構築、システム運用管理などの IT サービスを提供している。その業務遂行過程で排出される CO2 排出量を削減するために、チャレンジ25キャンペーンに参加するなど、具体的行動を実践している。しかしながら、IT 機器の利用そのものに社業が立脚していることから、本社ビルにおける業務遂行上使用不可欠な設備(IT 機器、OA 機器、照明等。空調設備を除く)の電力消費は、自助努力のみでは低減困難である。そこで、この電力消費に伴う CO2 排出量のカーボン・オフセットを実施する。なお、カーボン・オフセットの取組は今回で3年目となる。	
認証区分/タイミング	I-3 自己活動オフセット/オフセット済み認証	
カーボン・オフセットの主体(帰属先)	株式会社シーエーシー	
算定範囲	業務遂行上使用不可欠な設備(IT 機器、OA 機器、照明等。空調設備を除く)において消費する電力 対象ビル:シーエーシー本社ビル(地上部分 17 階地下部分 2 階) ※ビル所有者は住友不動産株式会社 対象エリア:B2 階当社使用倉庫と 1 階~10 階及び 12 階~17 階のオフィスエリア (1.地下 1 階のビル管理施設、地下 2 階の駐車場部分および 3 階、11 階の他社使用エリアを除く。2. 1 階~17 階の共用エリア(洗面所、エレベータ、出入口ゲート等)を除く。)	
オフセット量 / 算定排出量	464 t-CO2 / 463.82 t-CO2	
クレジット種別	京都クレジット(CER)	
プロジェクト名	NSL 27.65 MW Wind Power Project in Karnataka, India(国連 CDM 参照番号 0998) Irani Biomass Electricity Generation Project(国連 CDM 参照番号 0404)	
無効化日	2011 年 12 月 8 日	
情報公開	情報提供事項	記述欄
カーボン・オフセットに関する説明	申請者名(認証取得者名)	株式会社シーエーシー
	カーボン・オフセットの主体の特定	申請者
	認証対象活動	自己活動
	認証有効期間	認証決定日 ~ 2012年10月の月末日
	カーボン・オフセットの仕組みの説明	カーボン・オフセットとは日常生活や経済活動において避けることができないCO2等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。

カーボン・オフセットに関する説明	地球温暖化対策の喫緊性の説明	今日、人類社会は、消費エネルギーの増大による環境への負荷が急速に増大しており、低炭素化を推進し、持続可能社会を実現することが急務となっています。
算定対象範囲	<p>認証対象活動における温室効果ガス排出源</p> <hr/> <p>算定対象範囲</p>	<p>以下のとおり</p> <p>(1)設備内の電化設備、機器等の電力消費に伴うCO2排出</p> <p>(2)水、ガス等の使用に伴うCO2排出</p> <p>(3)従業員の移動に伴うCO2排出</p> <p>(4)OA用紙などの資源の消費及び廃棄に伴うCO2排出</p> <p>(5)その他の廃棄物の処理に伴うCO2排出</p> <hr/> <p>業務遂行上使用不可欠な設備(IT機器、OA機器、照明等。空調設備を除く)において消費する電力</p> <p>対象ビル:シーエーシー本社ビル(地上部分17階地下部分2階)※ビル所有者は住友不動産株式会社</p> <p>対象エリア:B2階当社使用倉庫と1階～10階及び12階～17階のオフィスエリア</p> <p>(1.地下1階のビル管理施設、地下2階の駐車場部分および3階、11階の他社使用エリアを除く。2.1階～17階の共用エリア(洗面所、エレベータ、出入口ゲート等)を除く。)</p>
算定方法、算定排出量	<p>算定排出量、及びオフセット量もしくはオフセット比率</p> <hr/> <p>算定方法(算定式、及び算定方法の根拠とした文書)</p>	<p>算定排出量 :463.82t-CO2</p> <p>オフセット量 :464t-CO2</p> <p>オフセット比率 :100%</p> <hr/> <p>2011年3月11日に発生した東日本大震災以降の電力需給の逼迫に伴い、弊社においても消費電力の削減努力を全社的に展開している。その結果、2011年3月から2011年9月までの7ヶ月間において、オフセット対象設備が消費した電力量は、月平均100,360kWhであり、電力消費量を例年のほぼ2/3に抑えることができた。現状の電力消費削減努力を今後も継続することを前提に、下記の算定式にてCO2排出量推定値を計算した。</p> <p>直近7ヶ月間(2011年3月から2011年9月まで)の消費電力量=100,360Kwh</p> <p>算定対象期間(2011年11月～2012年10月)の消費電力推定値</p> <p>=100,360×12=1,204,320Kwh</p> <p>算定対象期間(2011年11月～2012年10月)のCO2排出量推定値</p> <p>=算定対象期間の消費電力目標値×東京電力(株)のCO2排出係数</p> <p>=1,204,320kWh/年×0.000374t-CO2/kWh</p> <p>=451t-CO2 (450.42t-CO2:小数点以下繰り上げ)</p>

		その後、算定対象期間(2011年11月～2012年10月)の消費電力実績値を集計したところ、排出量が463.82t-CO2となった。
削減努力の実施	認証対象活動等に係る排出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デー(毎週水曜日)の実施(電源、空調使用時間の制限) ・社内で使用するクライアントPCを省電力設定 ・未使用エリアの消灯 ・共有ゾーンにおける終業後の通路消灯の実施 ・室内照明の利用の工夫 ・業務における紙の削減 ・夏場の空調温度のきめ細かな設定
	申請者自身の排出削減の取組	本社箱崎ビル以外の事業所においても、本社同様の各省エネ施策を実施している。これらは、従来より継続して実施してきた施策であり、認証決定時以降も継続的に実施する。
	オフセット主体に対する削減努力の促進に関する情報	
オフセットに用いるクレジットの調達及び排出量の埋め合わせ	クレジットの種類	CER
	認証制度名	CDM
	プロジェクト名(プロジェクト実施国・実施地域を含む)	<p>【プロジェクト番号】 CDM事業0998: NSL 27.65 MW Wind Power Project in Karnataka, India</p> <p>【プロジェクト番号】 CDM事業0404: Irani Biomass Electricity Generation Project</p>
	プロジェクトタイプ	風力発電、バイオマス
	クレジットの調達状況・調達期限・通知方法	調達済み
	クレジットの無効化状況・無効化方法	<ul style="list-style-type: none"> ・排出量算出時 2011年12月8日国別登録簿の償却口座へ移転済み(451t-CO2) ・実績値判明後の超過分 2013年5月16日国別登録簿の償却口座へ移転済み(13t-CO2)
販売価格・その他支払いに関する事項	商品・サービス当たりの販売価格	
	消費者の価格負担(料金への上乗)	

	せ)の有無	
	その他支払いに関する事項(申し込みの有効期限、不良品のキャンセル対応、販売数量、引渡し時期、送料、支払い方法、返品期限、返品送料等)	
販売事業者情報	販売事業者名	
	運営統括責任者名	
	連絡先(所在地、電話番号、e-mail)	
	ウェブサイトリンク先	
その他	付属書Eに対する要件	算定範囲、算定方法、削減努力、排出量の埋め合せ等の内容について、当該活動期間開始時点から、認証決定時までと認証決定時以降で変更なし